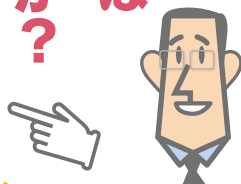


医療者の心を贈る

# コミュニケーション

患者さんと一緒に歩きたい

「コミュニケーション  
について」  
考えたことは  
ありませんか？



日下隼人 著



■ A5判 / 164頁  
■ 定価 (本体 1,800円 + 税)  
ISBN978-4-263-44462-7

言葉が正しくとも、患者さんの思いに  
いかに応えていかなければ、言葉の表情が  
温かくなければ、患者さんに言葉は届か  
ないのではないのでしょうか？  
そんな時、患者さんはどう感じているのだ  
ろうと視点を移して見ると、今まで気づかなか  
ったことが見えてくるかもしれません。

この二十年は東京SP研究会の模擬患者の方たちととも  
に多くの大学や病院でのコミュニケーション演習をお手伝  
いするようになり、そのことを通してあらためて私は患者  
市民の目で医療コミュニケーションを見つめ直すようにな  
りました。時を同じくして病院の臨床研修責任者にな  
り、たくさん研修医たちや病院見学の学生たちと出会う  
ことになりましたが、文字通り「教えることは学ぶこと」  
ばかりでした。

ある病院の院長室に掲げられた額に、「言温而氣和」と  
書かれているのを見て、コミュニケーションはこの五文字  
に尽きるような気がしました。言葉がおだやかであれば、  
それだけで心気がやわらぐ。「言葉を贈る」ということは  
「心を贈る」ことなのです。医療のめざすもの最終的な  
到達目標は、昔も今も「言温而氣和」のなかで生まれる患  
者さんの笑顔です。そのことを若い人たちに伝えることこ  
そ医学教育の目標ではないでしょうか。

(あとがきより抜粋)

医歯薬出版株式会社

# CONTENTS



1	はじめに コミュニケーションは誰もが しているのに	30	言葉の表情
2	よい医療者に会いたい	31	患者さんは孤独で、不安で、悔しい
3	コミュニケーションは出会う前から	32	患者さんは待っている
4	人は見かけが9割	33	言葉が跳ね返されるとき
5	立ち居振る舞い	34	患者理解ができなくとも
6	敬語は温かい	35	医療者の言葉や態度で
7	聴くこと、訊くこと	36	苦手な人にはいていいに
8	聴き方の技法は身につけている	37	雰囲気のを和らげる言葉
9	話の聴き方	38	相手が受け入れられるアドバイス
10	話を聴く姿勢	39	説明するのではなく「話し合い」 —インフォームド・コンセント
11	聴いてもらうことで	40	インフォームド・チョイス, セカンド・オピニオン
12	言葉を贈る	41	患者さん、その選択はだめですよ
13	わかるということ	42	在宅医療—在宅医療・終末期の医療
14	異文化コミュニケーション	43	DNR—在宅医療・終末期の医療
15	聞こえた音が変換できない	44	思い出は生き続ける—在宅医療・ 終末期の医療
16	言葉が多すぎると聞こえない	45	楽しい時を—在宅医療・終末期の 医療
17	これだけはわかってほしい	46	患者さんの物語—在宅医療・ 終末期の医療
18	目に見える説明を	47	嚥下障害について
19	処置と説明	48	チーム医療と「全人的医療」
20	検査・放射線は怖い	49	家族はチームの主要メンバー
21	質問はありがたい	50	コミュニケーションという キャッチボール
22	患者さんの言葉	51	患者さんを「クレーマー」に しないために
23	言葉の奥の不安に伝える	52	医療の場のコミュニケーション
24	百聞は一見に如かず	♡	あとがき
25	わかりやすい説明の要素		
26	医療者の言葉は聞こえない		
27	患者さんは我慢しています		
28	患者さんの世界は医療者にとって 異文化		
29	何気ない言葉が「上から目線」		

切り取り

## 医歯薬出版 ご注文承り書

医療者の心を贈る **コミュニケーション** 患者さんと一緒に歩きたい ( ) 冊

ご指定納入店 ( ) (納入店ご指定の場合)  直送希望 (代金引換のみのお取り扱いとなります。一回の発送につき送料200円+代引手数料250円が別途かかります。)

●お名前

●ご住所 (〒 - )

●TEL.

★必要事項をご記入の上、FAX. 03-5395-7633にご送信ください。★弊社ホームページ <http://www.ishiyaku.co.jp>からもお申し込みいただけます。  
医歯薬出版株式会社 〒113-8612 東京都文京区本駒込1-7-10 TEL. 03-5395-7630